

# 設置する学校に係る部活動の活動方針

(運動部・文化部共通)

学校法人 萩光塩学院

理事長 古 屋 恵 子

## 1 ねらい

生徒がスポーツや文化活動を楽しむことで、その習慣の確立等を図り、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなライフスタイルを実現するための資質・能力の育成を目指します。また、学習と部活動のバランスのとれた学校生活を送ることができるようにするため、スポーツ庁及び山口県教育委員会が作成した運動部活動に係るガイドラインに則り、望ましい部活動の環境を構築します。さらに私立学校としての部活動運営の特長を活かしながら、学校の実態に応じて最適な形で部活動が実施されることをねらいとします。

## 2 適切な運営のための体制整備

### (1) 校長の取組

- ①「運動部活動に係る活動方針」を策定し、HP や光塩会総会で公表します。
- ②顧問の複数配置や、適正な数の運動部活動設置を目指します。

### (2) 部活動顧問・部活動指導員の取組

- ①「年間活動計画」「月の活動計画」「活動実績」を作成します。(校長に提出)
- ②科学的トレーニングを積極的に導入します。
- ③休養を適切に取りつつ、短時間で効果が得られる指導を工夫します。(外部指導者も同様)

## 3 適切な休養日等の設定

### (1) 週当たり2日以上休養日を設定します

平日に1日、土曜日及び日曜日にも1日以上を休養日とします。ただしシーズン期間の週休日に両日活動する場合には、休養日を他の日に振り替えます。

### (2) 1日の活動時間は原則、平日2時間程度、休業日3時間程度とします

## 4 参加する大会や練習試合等の見直し

- (1) 参加する大会等の見直しを行います
- (2) 参加する大会等を年間活動計画に位置付けます

## 5 生徒のニーズを踏まえた環境整備

- (1) 生徒の多様なニーズに応じた部活動の設置を検討します
- (2) 合同練習などの取組を推進します

部員数の減少等に伴い、大会等に出場する人数を満たさなくなった場合は、生徒の活動機会が損なわれることがないよう配慮します。

この方針は、平成30年4月から適用する。

この方針は、平成31年4月から適用する。

# 萩光塩学院中学校・高等学校 部活動に係る活動方針

## (運動部・文化部共通)

- ◆基本方針 「一人ひとりの個性と可能性を伸ばし、高い人間力を身につけるための部活動の運営」
  - 【生徒】 心身の健康管理をし「学習・部活動バランス」の実現を図るメリハリのある部活動実践
  - 【教員】 「ワーク・ライフバランス」の実現を図る無理のない部活動指導
  
- ◆適切な運営のための体制整備
  - 各部顧問が年間活動計画（活動日、休養日、参加予定大会日程等）、活動実績を作成する
  - 年間活動計画については、生徒・保護者に公表する
  - 部活動顧問・副顧問によるワークシェアリングによる負担軽減
  - 生徒・教員に過重負担が認められる部活動顧問との面談実施
  
- ◆適切な指導と安全管理の実施
  - 適切な指導の実施
    - ・生徒の心身の健康管理
    - ・体罰、ハラスメントの根絶
    - ・科学的トレーニングを積極的に導入し、効率的・効果的・安全な練習メニューを設定
    - ・運動部活動用指導手引きの活用
  - 安全管理と事故防止
    - ・事故の未然防止（施設・設備の点検実施）と事故発生時の適切な対応
    - ・教員全員による心肺蘇生法・AED使用の研修実施
    - ・生徒の安全確保（大会など引率時、練習中の環境急変時など）
  
- ◆適切な休養日等の設定（長期休業中も、下記に準ずる）
  - 週当たり原則2日以上以上の休養日を設ける（平日1日、土日1日）
    - 原則として土日どちらかを休養日とする（年間の土日祝日のうち36日以上を休養日とする）
    - 原則以外・・・公式戦4週間前等
    - 公式戦・・・県高校総体、インターハイ県予選、新人戦、選手権あるいは選抜大会予選等
    - ※ 県予選を勝ち抜き、中国大会・全国大会に出場する場合も公式戦に含む
  - 定期試験1週間前及び定期試験中の部活動、原則禁止
    - 原則以外・・・公式戦が定期試験中・直後の週休日に開催される場合
  - 1日の活動時間は、平日は2時間程度 休業日は3時間程度（練習試合・遠征は除く）
  - 大会等で予定どおり休養日を設定できない場合は、事前に生徒や保護者と相談し承諾を得る
  - 生徒及び保護者から休養の申し出があった場合は、これを認める
  
- ◆参加する大会や練習試合等の見直し
  - 顧問・生徒で参加する大会等を精査し、負担軽減を図る
  - 「シーズン期」と「シーズン期以外」の活動にメリハリをつけ、生徒のモチベーション維持に努める